



Answer Key

解答・解説

Class _____ No. _____ Name _____

Reading Check

1. C 2. A 3. D 4. B 5. A 6. C 7. B 8. D

True or False: 1. T 2. F 3. T 4. F 5. T 6. F

Match

💀 = skull 🕯️ = candle 🌸 = flower 🍞 = bread 🎸 = guitar 🐕 = dog 📷 = photo 💧 = water

Unscramble

1. SKULL 2. ALTAR 3. SPIRIT 4. PETAL 5. GRAVE 6. REUNION

Fill in the blanks

(1) November (2) altar (3) photo (4) bread (5) water (6) candles (7) petals (8) cemetery (9) song (10) home

Sentence order

1. Families make an altar for the dead.
2. The spirits come home once a year.
3. She puts orange petals on the ground.
4. The Day of the Dead is not scary.
5. We remember our grandparents with love.

Secret Code

WE REMEMBER YOU (あなたのことを忘れないよ)

Maze — Secret word

OFRENDA

解説 (Reading Check)

1. C 本文全体が、亡くなった家族を迎えて思い出す行事として死者の日を説明しています。第4段落でハロウィンとは違い、こわがる夜ではないと書かれています。映画は広めただけで、作ったわけではありません。
2. A 第1段落に She is making a path from the cemetery to her house. とあり、おじいちゃんが家への道を見つけられるようにしたいと書かれています。
3. D 第2段落に children who died are remembered on the first day, and adults on the second day とあります。2日目(11月2日)は大人です。
4. B 第3段落に because people say their strong smell helps the spirits find the way とあります。値段や食べることは出てきません。
5. A reunion は re (ふたたび) + union (一つになる) で「再会」。亡くなった家族と年に一度また会う、という死者の日の考え方にぴったりの言葉です。
6. C 第4段落に In some towns, families stay at the cemetery all night. とあります。死者の日は2日間、ユネスコは2008年(2017年は映画)、祭壇には写真や食べ物も置くので、ほかは誤りです。
7. B As long as she remembers her grandfather, he is not really gone. は「覚えている限り、本当にいなくなったわけではない」。覚えていることで、おじいちゃんが心の中で生き続けているという気持ちが読み取れます。
8. D ルシアは the trip from the land of the dead is long. So she will be thirsty. と言っています。水は花やお客さんのためではなく、帰ってくる魂のためのものです。



Translations

和訳・全訳

Class _____ No. _____ Name _____

和訳（問題文）

- T/F 1. 死者の日は11月1日と2日だ。
- T/F 2. 死者の日はハロウィンと同じ行事だ。（別の行事）
- T/F 3. 家族は祭壇に故人の好物を置く。
- T/F 4. 死者の日はとても静かでこわい夜だ。（音楽や笑いのある明るい行事）
- T/F 5. ユネスコは2008年に死者の日をリストに加えた。
- T/F 6. メキシコシティのパレードには500年以上の歴史がある。（2016年に始まった）
- Unscramble 1. SKULL＝ガイコツの頭
- Unscramble 2. ALTAR＝祭壇
- Unscramble 3. SPIRIT＝魂
- Unscramble 4. PETAL＝花びら
- Unscramble 5. GRAVE＝墓
- Unscramble 6. REUNION＝再会
- Order 1. 家族は死者のために祭壇を作ります。
- Order 2. 魂は年に一度家に帰ってきます。
- Order 3. 彼女は地面にオレンジの花びらをまきます。
- Order 4. 死者の日はこわくありません。
- Order 5. 私たちは愛をこめて祖父母をしのびます。
- ... has seen the movie Coco＝映画『リメンバー・ミー』を見たことがある
- ... has visited a family grave this year＝今年、家族のお墓参りをした
- ... likes sweet bread＝甘いパンが好き
- ... knows the color of marigolds＝マリーゴールドの色を知っている
- ... can say hello in Spanish＝スペイン語でこんにちはと言える
- ... has made a cucumber horse for Obon＝お盆にキュウリの馬を作ったことがある
- ... knows a story about a grandparent＝祖父母のエピソードを1つ知っている
- ... likes to draw skulls or skeletons＝ガイコツや骸骨の絵をかくのが好き
- If I made an ofrenda, I would put _____ on it because _____.＝もし祭壇を作るなら、私は_____を置きます。なぜなら_____だから。
- The Day of the Dead is different from Halloween because _____.＝死者の日は_____という点でハロウィンと違います。
- One thing I want to remember about my family is _____.＝家族について覚えておきたいことの1つは_____です。

全訳（Reading）

1 11月1日の夜、メキシコの小さな女の子が、地面にオレンジ色の花びらをまいています。墓地から自分の家までの道を作っているのです。おじいちゃんは去年亡くなりました。今夜、おじいちゃんが家への道を見つけれられるようにしたいのです。

2 これが死者の日、スペイン語で Día de Muertos です。11月1日と2日に祝われます。多くの家族は、愛する人の魂が少しの間、会いに帰ってくると信じています。多くの地域で、1日目には亡くなった子どもたちを、2日目には大人たちをしのびます。

3 家では、家族がオフレンダと呼ばれる祭壇を作ります。そこに写真、ろうそく、水、そして亡くなった人の好物を置きます。上に骨の形がついた甘いパンや、砂糖でできたカラフルなガイコツもあります。あざやかなマリーゴールドの花がいたるところにあります。その強い香りが魂の道案内になると言われているからです。

4 死者の日をメキシコのハロウィンだと思う人もいますが、まったく違います。こわがる夜ではありません。家族の再会なのです。町によっては、家族が一晩じゅう墓地で過ごします。お墓のそばで音楽を演奏し、おもしろい話をし、食べ物を分け合います。

5 2008年、ユネスコはこの祭りを世界の大切な伝統のリストに加えました。2017年には、映画『リメンバー・ミー（Coco）』が、世界中の何百万人もの人にこの祭りを見せました。でも、あの小さな女の子にとっては、話はかんたんです。彼女がおじいちゃんのことを覚えているかぎり、おじいちゃんはずっと生きていたわけではないのです。

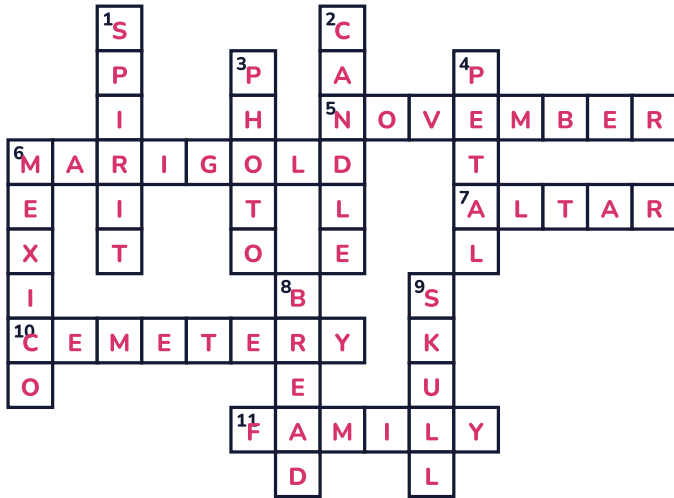


Answer Key (Puzzles)

解答 (パズル)

Class _____ No. _____ Name _____

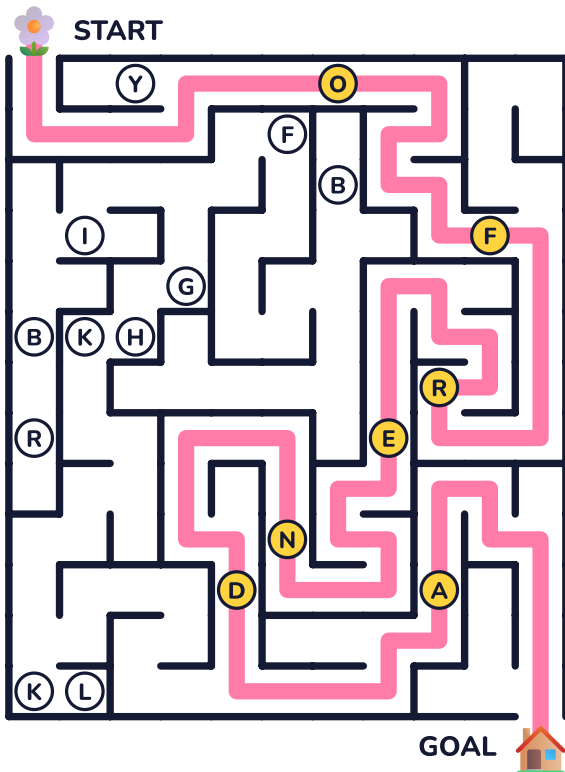
Crossword



Word Search



Maze





Answer Key (Advanced)

解答（発展セット）

Class _____ No. _____ Name _____

発展セット C1 : Comprehension

1. B 第1段落で映画が新しい行事を生んだ例、第2段落でこれまでも形が変わってきたこと、第3段落で変化しても本物でなくなるわけではないと述べている。3は第2段落で歴史家の意見が分かれているとあり、言いきれない。4はユネスコが認めただけで、作ったのではない。
2. D 第1段落に The following year, the city organized a real one, and around 250,000 people came to watch. とある。ユネスコの登録は2008年で、映画より前。
3. A 第2段落に was largely promoted by the government in the twentieth century to build national identity とある。映画や観光客の話はマルビドの説には出てこない。
4. C 第1段落で、ビザ効果は a culture adopts a version of itself that was shaped abroad と説明されている。外国の映画が描いた架空のパレードを、メキシコが本物の行事として取り入れたので、これにあてはまる。パレードは映画のあとにできたので2は誤り。
5. A 第3段落は、映画や政府、風刺画によって形が変わってきたことが、本物らしさを下げるのかと問い、メキシコの多くの人は no と答えるだろうとしている。authentic は「本物の、その文化に根ざした」という意味。
6. D 最後の文に they stay alive precisely because people keep changing them とある。博物館の展示品のように固まったものではなく、変わり続けるからこそ生きている、という主張。

発展セット C2 : Vocabulary

1-g (spectacular=壮観な、目を見張るような) 2-h (adopt=取り入れる、採用する) 3-a (ritual=儀式) 4-b (identity=アイデンティティ、自分たちらしさ) 5-c (satirical=風刺の) 6-d (authentic=本物の、本場の) 7-e (indigenous=先住の、土着の) 8-f (precisely=まさに、ちょうど)

Paraphrase (例)

1. People who watched the film around the world loved the scene, but the parade was not real.
2. Elsa Malvido, a Mexican historian, said that in the 1900s the government helped spread today's celebration so that people would feel more Mexican.
3. Traditions do not stay the same like things in a museum. People keep changing them, and that is why they stay alive.

Summary (例)

A James Bond film showed a Day of the Dead parade that did not exist, and the next year Mexico City started a real one. The festival has changed before, through the government and art like La Catrina. But families still keep it alive, because traditions live by changing.

Advanced Reading 全訳

1 2015年、ジェームズ・ボンドの映画『スペクター』は、メキシコシティを進む壮大な死者の日のパレードの場面で始まりました。世界の観客が感動しましたが、1つ問題がありました。そんなパレードは存在しなかったのです。翌年、市は本物のパレードを企画し、約25万人が見に来ました。学者はこれを「ビザ効果」と呼ぶことがあります。外国で形づくられた自分たちの文化の姿を、その文化が取り入れることです。

2 この祭りが作り変えられたのは、これが初めてではありません。歴史家の間では、どこまでがアステカの儀式から来て、どこまでがスペインのカトリックの習慣から来たのかで意見が分かれています。メキシコの歴史家エルサ・マルビドは、今の祭りは20世紀に国のアイデンティティを築くため、政府が大きく後押ししたものだと主張しました。ラ・カトリーナでさえ、古代の女神ではなく風刺の版画として始まりました。

3 それで、この伝統は本物らしさを失うのでしょうか。多くのメキシコ人は「いいえ」と答えるでしょう。2008年にユネスコがこの祭りを認めたときも、メキシコの先住民の共同体で今も営まれている習わしとして紹介しました。飾り1つ1つの起源がどうであれ、家族は今も墓を掃除し、死者のために料理し、その人の話をしています。伝統は博物館の展示品ではありません。人々が変え続けるからこそ、生きているのです。